

## 岩手医科大学 教養教育研究年報 執筆要領

著者は可能な限り以下の説明に従って原稿を作成することが望まれる。

### 文書スタイル

- 1) 投稿原稿は、A4版の用紙に作製し、上下左右に25mmの余白を設定する。
- 2) 原稿は横書きに限り、日本語を基準として1ページあたり41行程度、1行あたり45文字程度を目安とし、本文の文字サイズは10～12ポイント程度を用いることが望ましい。
- 3) 和文のフォントは本文ではMS明朝を、各セクションの見出しではMSゴシックを使用する。英文のフォントはTimes New Romanを使用し、各セクションの見出しはBoldとする。
- 4) 和文の場合は、句点は「.」、読点は「,」に統一する。

### 原稿の構成

- 1) 原稿は、原則として「表題」、「著者名」、「著者所属」、「コレスポンディングオーサーの氏名とメールアドレス」、「要旨 (Abstract)」、「キーワード (Keywords)」、「本文」、必要であれば続けて、「謝辞 (Acknowledgements)」、「引用文献 (References)」、「図表の説明」、「図表」、「付録」などの順で構成する。ただし、コレスポンディングオーサーの氏名とメールアドレス、要旨、キーワードの記載は任意とする。日本語論文の場合は、タイトルと著者の氏名・所属に英語表記を併記する。要旨およびキーワードは和文と英文の両方またはどちらかを記載する。
- 2) 論文タイトルの英語表記では、初めの後と固有名詞の頭文字のみを大文字とし、それ以外はすべて小文字とする。
- 3) タイトルを短縮せずにランニングヘッドに記載することを基本とする。ランニングタイトル（短縮表題）の記載を希望する著者は内容を簡潔に表すものを別途用意することとする。
- 4) 著者名の日本語表記は、5字取り揃えに準ずるスタイルとし、漢字4文字以下の場合は名前と苗字の間に全角スペースを入れ、漢字5文字以上の場合には名前と苗字の間に全角スペースを入れないこととする（例：「岩手 太郎」、「岩手医太郎」）。著者名の英語表記では、名前（ファーストネームとミドルネーム）は頭文字のみを大文字にして残りを小文字、姓は大文字で記載する（例：「Taro IWATE」）。連名の場合は著者名を「,」で連ねることとする。必要に応じてコレスポンディングオーサーに「\*」を付けて指定する。
- 5) 著者所属の日本語表記では大学、センター、学科、分野などの間に半角スペースを入れて統一する。

### 本文

- 1) 原著論文の場合、本文の構成は、「緒言（はじめに, Introduction）」、「材料と方法 (Materials and Methods)」または「方法(Methods)」、「結果(Results)」、「考察(Discussion)」などのセクションに分けることを基本とする。「結果」と「考察」は1つのセクションにまとめて「結果と考察(Results and Discussion)」としても良い。「結論(まとめ, Conclusion)」の記載は任意とする。本文の構成については、研究分野による独自性を鑑み、必要に応じて著者の判断で変更することを妨げない。
- 2) 原著論文以外（資料、調査報告、総説等）の場合は、本文のセクション分けは任意とする。
- 3) 各セクションには1, 2, 3…のように番号をつける。各セクションの節には1.1, 1.2, 1.3…のように番号をつける。章、節の番号に使用する数字はアラビア数字とする。
- 4) 単位記号は半角英字とし、数値と単位の間には半角スペースを入れることとする。但し、%, °の

場合は、数値と単位の間半角スペースは不要とする。

## 図表

- 1) 図および表には、それぞれ通し番号をつける。
- 2) 図表のタイトルおよび説明は、日本語、英語のいずれかに統一する。
- 3) 図のデータはWordファイルやPowerPointファイルへの貼り付ける画像としてではなく、JPEG、PNG、TIFF、EPSなど画像ファイル形式で入稿することが望ましい。wordやpptで作成した図はPDFに変換した後に入稿することが望ましい。
- 4) 図表の挿入位置は本文内に明記することとする。「図表の説明」と「図表」はあらかじめ本文中の適切な位置に配置して明示しても良い。
- 5) 表は画像ファイルとしてではなく、WordファイルやExcelファイルで作成したものを入稿することが望ましい。

## 引用文献

- 1) 引用文献を著者姓名と出版年で示す場合は、本文中で引用文献の著者姓名と出版年を括弧で閉じて示し、複数引用する場合には各文献を出版年の古い順からコンマで区切ることを基本とする。括弧とコンマは英文では半角、和文では全角文字を使用する。著者名と出版年の間にはコンマは入れず、半角スペースで区切るものとする。著者が2名の場合は、著者姓名を和文では「・」、英文では「&」で結び、著者が3名以上の場合は、第二著者以降について、和文では「ほか」、英文では「et al.」とする。著者と出版年が同じ文献は、出版年の後にアルファベットを付して区別する。例：佐藤（2016）、鈴木・菊池（2017）、Iwate & Yahaba（2018）、（木村ほか 2019、Yahaba et al. 2020）
- 2) 引用文献を番号で示す場合は、本文中の文献引用箇所の右肩に1)、1) 3) 6)、1-5) のように通し番号に右片カッコをつけて記す。
- 3) 引用文献は、本文の末尾の引用文献リストに、アルファベット順または通し番号順に記載する。
- 4) 引用文献リストの文献表記のスタイルは「岩手医科大学 教養教育研究年報 各学科の研究業績等 作成要領（以下「研究業績等 作成要領」という。）」に従うことが望ましい。ただし、著者名の左肩の「\*」（研究業績等 作成要領 参照）は付さないものとする。「研究業績等 作成要領」に従わない場合には、最低限「研究業績等 作成要領」に記載の文献情報を含めることとし、文献表記のスタイルは論文中で統一する。
- 5) Webページを引用する場合は、作成者：「記事名」「ウェブサイト名」「URL」「（発行年）」「最終アクセス年月日」を次の例のように記載する。  
例）厚生労働省：電子処方箋の運用ガイドライン 第2版。厚生労働省HP。 [https://www.mhlw.go.jp/stf/denshishohousengi\\_00005.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/denshishohousengi_00005.html)（2020）最終アクセス：2020年11月2日
- 6) 引用文献と注釈は区別して表記することとし、注釈は脚注として示すか、別途注釈リストを作成して記載することとする。

## 執筆要領の改定・改正

- 1) 執筆要領の改定・改正には、地域貢献推進専門委員会の議を経た後、センター委員会での承認を必要とする。

(2021年11月5日制定)